令和4年度　在宅医療・介護連携推進事業　取組み状況（概要）受託法人

参考資料１－２

受託法人　ウエ			北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	天王寺	浪速	西淀川	淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江	住吉	東住吉	平野	西成	集計
ウ　切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進状況について	ウ　に関連する取組の実施状況 １．実施している ２．実施に向けて調整中（R5年度以降に実施予定） ３．現時点では未着手（実施に向けた具体的な準備・調整にいたっていない。）	1.在宅療養中の患者・利用者に対する主治医を含む複数の医師による対応体制などの取組み	1	1	1	1	1	3	3	1	3	1	1	2	3	1	3	1	1	1	3	3	3	3	3	2	1.12区 2.2区 3.10区
		上記取り組みについて、介護関係者（介護支援専門員等）と共有する仕組みができている	3	1	2	1	2	3	1	1	3	1	1	2	3	1	3	1	2	1	3	2	3	3	3	1	1.10区 2.5区 3.9区
		2.在宅療養中の患者・利用者に対する、急変時診療医療機関を確保する（後方病床の確保等）取組み	1	3	3	1	3	1	2	1	2	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	2	3	3	1	3	1.13区 2.5区 3.6区
		上記取り組みについて、介護関係者（介護支援専門員等）と共有する仕組みができている	3	3	3	1	3	1	2	1	2	1	1	2	3	1	3	1	2	1	3	2	3	3	1	3	1.9区 2.5区 3.10区
		3.在宅療養中の患者・利用者に対する、訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護ステーションとの連携体制の構築に向けた取り組み	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	3	1	1	3	1.19区 2.3区 3.2区
		上記取組みについて、介護関係者（介護支援専門員等）と共有する仕組みができている	3	1	3	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	3	2	3	1	1	3	1.15区 2.2区 3.7区
		4.　その他（ウ）に該当すると思われる取組み（具体的に記載）		救急搬送時に緊急連絡先や伝える情報シートの検討									施設と病院の緊急時・入院時の連携および病院・在宅・施設での食支援の連携				発熱対応やコロナで困ったときにICTを利用して相談できる取組を医師会主催で実施	コロナ禍でも、利用者の日常生活が継続できるように、訪問看護と協力して、訪問介護事業所（ヘルパー）の支援を実施				中止になっていた交流会の再開、医師と介護従事者の勉強会の開催				
エ　医療・介護関係者の情報共有の支援の取組状況について	エ　に関連する取組の実施状況 １．実施している ２．実施に向けて調整中（R5年度以降に実施予定） ３．現時点では未着手（実施に向けた具体的な準備・調整にいたっていない。）	１．医療・介護関係者間で共有すべき情報や情報共有のニーズ、共有方法についての検討	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	2	1	1	1	1	1	2	2	1.20区 2.3区 3.1区
		２．現在使用されている情報共有ツールやその活用状況の確認	1	2	3	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	3	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1.16区 2.6区 3.2区
		３．地域で充実又は作成するべき情報共有ツールの検討	3	2	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	1	2	2	2	2	1	1	3	2	1.12区 2.8区 3.4区
		４．情報共有ツールの導入や利用促進	3	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	2	2	2	1	2	1	1	3	1	1.13区 2.8区 3.3区
		５．４．で導入した情報共有ツールの活用状況や効果についての評価や改善	3	2	3	1	3	2	2	1	1	1	2	1	1	3	3	2	2	3	2	2	3	2	3	2	1.6区 2.10区 3.8区
		６．その他（エ）に該当すると思われる取組（具体的に記載）		救急搬送時の時に「もしもの時に伝えるシート」を検討				MCSの活用。現在試験的に運用							ICT(メディカルケアステーション：MCS）を活用した多職種連携							既存のカード（あんしんカード）に本人の意思がわかるようにする（ACP）	MCSなどの利用について研修会などをおこない、一部の関係者が連絡のツールとして使用				